

## 目次

1. 課題の概要	1
2. 研究機関および研究者リスト	2
3. 研究報告	3
3. 1 位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発（京都大学）	3
(1) 業務の内容	3
(a) 業務題目	3
(b) 担当者	3
(c) 業務の目的	3
(d) 10ヶ年の年度実施計画	4
(2) 平成31年度（令和元年度）の成果	7
(a) 業務の要約	7
(b) 業務の実施方法	8
1) 実施機関と業務分担	8
(c) 業務の成果	9
1) 観測データの火山学的解析	9
2) 光センサシステム観測の総合評価および総括	35
3) リアルタイム処理システムの検討	54
3) プロジェクト運営	56
(d) 結論ならびに今後の課題	56
1) 結論	56
2) 問題点と今後の課題	57
(e) 謝辞	57
(f) 引用文献	57
(g) 成果の論文発表・口頭発表等	59
(h) 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定	59
(3) 令和2年度の業務計画案	60

3. 2 位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発（白山工業）	61
(1) 業務の内容	61
(a) 業務題目	61
(b) 担当者	61
(c) 業務の目的	61
(d) 10ヶ年の年度実施計画	61
(e) 平成31年度（令和元年度）業務目的	65
(2) 平成31年度（令和元年度）の成果	66
(a) 業務の要約	66
(b) 業務の実施方法	66
(c) 業務の成果	67
1) 3成分光センサの作成	67
2) 新しい光センサによる活火山の観測	68
(d) 結論ならびに今後の課題	77
1) 結論	77
2) 問題点と今後の課題	77
(e) 謝辞	78
(f) 引用文献	78
(g) 成果の論文発表・口頭発表等	78
(h) 特許出願，ソフトウェア開発，仕様・標準等の策定	78
(3) 令和2年度の業務計画案	78
4. 活動報告	80
5. むすび	81